

2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [兵庫県立芦屋国際中等教育学校] 担当教諭名 [貞松 千佳子] (3年A組 40名)

相手国・地域 [アメリカ]

海外学校名 [John Adams Middle School] 担当教諭名 [Jennifer Joyce]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	道徳	自己を知る・見つめる	9
	特別活動	アートマイルプロジェクト(国際理解・多文化共生)	11
	総合的な学習の時間	アートマイルプロジェクト(国際理解・多文化共生)	16

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Harmony (ハーモニー)
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	Nothing can divide us! (海を隔てて遠く離れた国に住み実際に会うことができなくても、様々な方法で、思いや考え・意見を共有し、互いを身近に感じ、信頼関係を深めていくことができる。)



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・今回は調べ学習ではなく、今の思春期の自分の悩みを分析し、またその悩みや不安を乗り越えるための解決策について共有した。自己を見つめ直すきっかけになったと同時に、自分だけでなくみんなも同じ悩みを持っているんだと少し安心できたり、国が違っても同じような悩みを持っていることに親近感を感じたり、相手校の生徒達が自分のことだけでなく、自然災害や環境問題など世界の問題にも目を向けていることに驚いたりなど、他者を知ることを通して心の成長がみられた。 ・言いたいことを表現したり、相手が伝えていることをしっかり理解するためにも、さらに英語学習に力を入れたいと思うことができ、生徒の学習意欲を駆り立てることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アートマイルプロジェクトの活動に費やす時間の確保が難しかった。 ・相手を実際に見ながら会話し、相手を身近に感じることができるであろうスカイプでのやり取りが実施できなかった。 ・返事が予測通りに来ない場合など授業のスケジュールが立てにくい時があった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・相手とやり取りをすればするほど、相手を身近に感じ、自分達が行ったこと(依頼したことや紹介したこと)に対して返事がくると嬉しく思い、次の活動を相手校と一緒にすることをどんどん楽しく感じる事ができた。 ・活動が進むにつれて、相手の国や相手の国の同世代の生徒達のことをもっと知りたいと思うと同時に、日本のことを紹介したい・発信したいという気持ちが高まっていった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本側でやったことをフォーラム上にアップするだけでなく、生徒達を感じたこと・思ったこと・考えたことの中で相手校に知ってもらいたいと思うものを英語にし伝えることができたことで、相手の意見や考えていることもどんどん伝えてくれるようになり、やり取りの質が深まったと思う。翻訳作業に時間はかかったが、深まりを期待するなら必要なことだと改めて感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
<p>出会い 自己紹介</p>	<p>6月 7月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介レター作成 ・学校紹介ビデオ(動画)作成 ・テーマ“Harmony(ハーモニー)”のブレインストーミング ・アートマイル事務局からのアートマイルプロジェクトについての説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた英語を理解してもらったり、自分をよりイメージしてもらうために、イラストを描いたり、写真を選んで載せたりと意欲的に工夫することができた。 ・動画撮影そのものには非常に興味を示し、どの班も時間の許す限り、どんどん工夫を凝らし完成させることができた。 ・“ワールドカフェ”を用いてのブレインストーミングも初めて行ったため、発想の広がりを楽しみながら取り組むことができた。 	<p>道徳2 学活2 総合10</p>
<p>共有 テーマ学習</p>	<p>9月 10月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手からの自己紹介カードを読む ・フォーラムに返事や新しい情報をアップする。 ・自分の今持っている悩みや解決方法を分析し共有する。 ・合唱曲“手紙”の歌詞の意味を捉え紹介する。 ・相手からの返事を翻訳する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達と同じスタイルの自己紹介レターや学校紹介ビデオを見て非常に喜び、楽しみながら内容を理解しようとする姿が見られた。 ・国が違って同じような悩みを持っていることに親近感を感じたり、相手は自分のことだけでなく、自然災害や環境問題など世界の問題にも目を向けていることに驚いたりする様子が見られた。 ・自分達が紹介した合唱曲を相手が気に入ってくれ、自らYouTubeで調べて聞いてくれたことに嬉しさを感じていた。 ・返事の翻訳作業は大変だったが、班と協力して、すべて内容が理解できたときには大きな達成感を感じる事ができた。 	<p>道徳3 学活3 総合3</p>

融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・世界に訴えるメッセージを考え共有する。 ・図案を考え共有する。 ・図案の下書き、相手への返事、新しい情報のアップ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手からの返事を読み続けるうちに、相手が一生懸命取り組んでくれていると感じ、こちらもどの作業も一生懸命考えて案を出し、より良いものを選びようとする姿が見られた。 	道徳2 学活2 総合1 放課後
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・壁画の色塗り。 ・日本らしい年賀状の作成。(壁画と同封して郵送するため) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達から工夫を凝らし、40人をうまく役割分担し進めることができた。細かい色作りを相談しながら熱心に取り組むことができた。また、絵の具、筆、パレットの管理や、水を取り替えたりなど縁の下の力持ちをして動いてくれる生徒がたくさんいた。 	道徳1 総合6 放課後
評価 振り返り 自己評価	12月 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期の学校生活の振り返りの中で、アートマイルプロジェクトの振り返りも行った。 ・3月に完成した絵を鑑賞し、完成作品を見た感想と1年間の振り返りを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・このプロジェクトが自分にとってどう役に立ったかを具体的に示すことができた。 ・完成度の高さに驚くとともに、絵の中にも相手校との繋がりを感じる事ができたようだ。 ・生徒全員が、離れていても思っていることを伝えることができることを改めて知り、楽しく取り組めた。 	学活1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてつもない 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	相手に何かを紹介するとき(自分自身、学校、年賀状)は、日本らしさを何か添えて紹介したいという気持ちで工夫していた。
異文化を理解する力	5	相手校から何か届いたり、アップされていたり、返事がきたりし、それをいつも新鮮な気持ちで内容を理解しようとしていた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	ビデオ動画作成、フォーラムへのアップ作業等、機器をうまく使用し、工夫しながら完成させることができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	5	英語を書くことも、英語を訳すことも大変な作業ではあったが、班員とコミュニケーションを取りながら協力して進めることができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	今回のテーマ学習は自分自身についてだったため、批判的に思考する力がついたとはいえない。
主体的に考え行動する力	4	一人一人が出した案から選ぶ際に、その案が出た思いにしっかり耳を傾け皆で良いものを選びようとする姿勢が見られた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	英語翻訳や壁画色塗りなどでは、しっかり役割分担し協力することができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	自分達が言いたいことを言葉(英語)で表現するのは簡単ではなかったが、悪戦苦闘しながらも班で協力し進めることができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	自己評価では、自分はどのような面が弱いのか、またこのプロジェクトがどのような面で役立ったかを具体的に示すことができた。